

WARBLE

SPIN OUT! "It's absolutely RAW"

- This paper gives y'all hip hop headz the real words from the real scene... -

CONTENTS OF JULY 2000

SPECIAL INTERVIEW "CRAZY-A" (R.S.C. JAPAN) page 01	EVENTS SCHEDULE - August 2000 page 02	RECOMMENDED EVENTS - Event Information page 03	EVENT REPORT - '00.06.30 Daddy's House Special DJ Kaori "Def Soul" Mix CD Release Tour 2000 - '00.07.21 Daddy's House Special DJ Cash Money Japan Tour page 04	ROCK THE CITY STAFF STAFF STAFF page 05	DISCS FILE - Selected by HomeBass Records COLUMN - 01. Minamidai - 02. Makiko Okada (Next Level Recordings) page 06	SYOGYO-MUJO-NO-HIBIKI-ARI - by Maki the Magic MO' INFO EYEZ ON DJ MASTERKEY page 07	COMPLETE THE GUNTEZ RECORDS GUNCO-01 page 08
--	--	---	--	---	--	--	---

Special Interview CRAZY-A [R.S.C. Japan]

ROCK STEADY CREW JAPANの総帥であり、毎年多くのB-BOY、B-GIRLに多くの感動と意義を与えるB-BOY PARK (今年は8/31~9/3に開催)の創始者であり、いわば日本のHIP HOPシーンに於ける立役者CRAZY-A。日本のHIP HOPの歴史の証人の貴重なインタビュー、心して読め!!

●今でもRSCJの方達は代々木公園で活動されていますが、クラブやイベントで活動を行うようになって来たりして何か変わったことはありますか?

かれこれもう18年経つんだけど、HIP HOPが大きくなったから待遇が良くなりました(笑)。

●18年前の始めた頃はどのような感じだったのですか?

始まった頃は、僕は20歳だったので大人だったんですけど、弟世代はまだ少年だからクラブとか行けないじゃないですか。だからやるところがなく、しょうがなく公園でやっていたんだけど。当時はディスクが全盛の頃で、マハラジャとかネクタイして革靴履いてないといけない。イベント時は入れたけど、普段あんまりラフな格好では入れなかったから今はすごく入りやすくなったし、使いやすくなった。箱自体だんだん理解が出てきて良かったな一つ思うね。

●クラブで活動をするようになったのはいつ頃ですか?

踊り始めてすぐ。クラブで活動をやりたいていうのはなかったけど、友達イベントがあって呼ばれていたり、ショーで呼ばれたりしてた。普段は結構普通の格好して、当時は六本木のブラックミュージックのかかる所には行ってた。クラブでもディスクでもいい曲がかかる場所へはストリートダンサーの活動のひとつとして通ってた。

●それでだんだん仕事に発展していったのですか?

最初から仕事にはならなかったね。ちょっと来て踊ってくれてその程度でしたね、当時は。プロになるうと思ってから少しずつ仕事になるように心がけてはいるよ。

●グラフィティについてご意見を聞かせて下さい。

グラフィティに関しては、日本の場合ブロンクスから直接入って来てなくて、LA経由だったりハワイ経由だったりして、HIP HOPとちょっと違う所から流行ってきたじゃないですか。やっぱり精神的な考え方は、ライターの人達に失礼になっちゃうかも知れないんだけど、HIP HOPとなんかちょっと違う気がする。当時は、正しく紹介できる方法がなかったし、それなりの知識を持って人もいなかった。グラフィティは遊びではみんなやってたけど。でもグラフィティは違法じゃないですか。結構迷惑してる人もいるだろうから。

グラフィティは、日本の場合今が創生期。今すごくたくさん出てきてるけど悪いものが目立ってくる。ただタギングだけのものだったり...まあ遊んでるんですよ。そんなのばかりで、アートとしてだったりメッセージとしてだったりというのがあんまり見られないですね。すごく意義のある事をやって欲しいし、やるなっていうのは間違いだと思ってる。やれて言うのも間違いだけど、やるのはどんどんやってもらいたいんだけど、(グラフィティというのは)街をきれいにするものだと思うんですよ。ただ汚して自分の名前を出す、そういうものよりも、自分のメッセージだったり世の中の為になることだったりそういう事に使っていくって欲しい。まだ創生期だから無理もないんだけど、どんどん意識を高めていって、見てニヤッと出来るような作品を見てみたいですね。

でもね、渋谷のレコ村の裏に保育園があるんですよ。その保育園の前の壁がもう凄くて、なんとか書

き直したいなと思ってる動いてて、いざ書きに行こうって時には既に他の人に汚く書かれてたんですよ。なんか子供の絵とか書いたらいいのになって思って、うちのライターと相談をしていたのに...。うわ、書かれてるって残念に思っていたんだけど、その後見に行ったらKAZZ ROCKが上からきれいに書きなおしてましたよ。久々に感激した。ドラえもんが宇宙を飛んでいるような絵が書いてあった。彼はすごく偉いと思いますよ、活動もちゃんとしてるのに。でもそうでなきゃいけないと思うんだよね、ライターは。古いものはどんどん壊して新しいものを作っていくという。どんどん良いものにしていけばいいんだよね。でもKAZZ ROCKはホント偉いと思ったなあ、オシ。先にやられてちょっとくやしけど(笑)。

●アメリカのRSCの人達のグラフィティに対する感覚は日本とは違いますか?

うんやっぱり彼らの場合、ブロンクスっていう街で生まれ育って、そういう遊びが生まれて、自然に子供の頃からの遊びとして当たり前のよう感じだし、お祭りがあるとそういう奴らが集まって、自分のスキルを發揮して、見せ合って上手い奴がイエーどうだ、自慢ゴッコみたいな。グラフィに限らずHIP HOPはみんな同じルールでしょ。

●アメリカではスケッチブックをみんなもって来て交換しあってる光景も見ると、そういうのが代々木でも行われて、交流の場になっていくといいですね。

代々木って元々歩行者天国だったじゃない。歩行者天国ってみんなの場所だから集まりやすくて、毎週やれば必ず誰かがくるじゃないですか、地方からとか海外からだったり。だから毎週やらなきゃ行けなかったんですよ、あそこは。あそこに来ると必ずプレーカーがいたりDJがいたりする場所を、クラブに入れない頃からやってたから、誰にも文句を言われず唯一自由にHIP HOPが出来る場所という。向こうのRSCもそうなんだけど集まってしまうばなにかが出来る、一人一人がなにかもっている。ラジカセさえあればって感じでした。

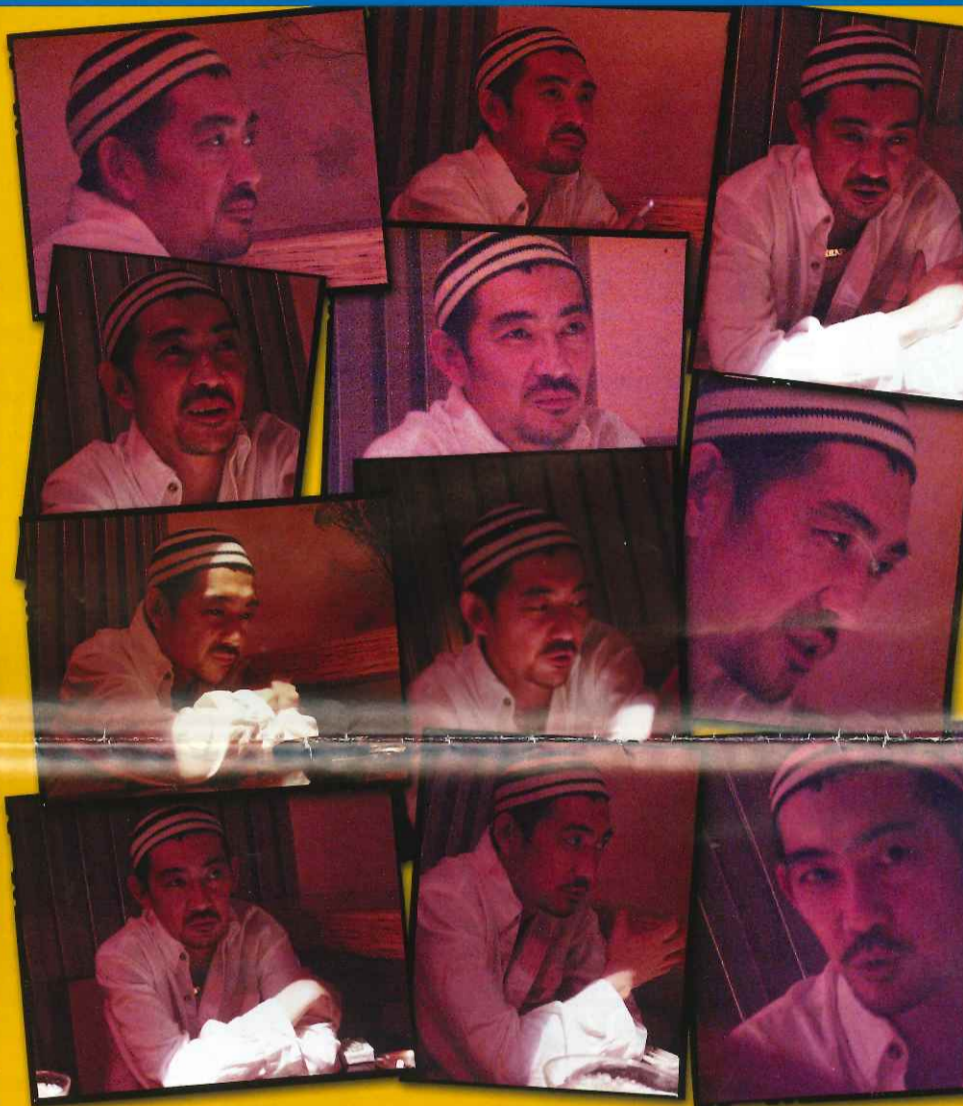
やっぱりHIP HOPは子供がやらなくてだめですよ。子供がやるから格好いい。大人が出来ない事を子供がやるからHIP HOPなのかなって思ったりして。向こうの奴は缶蹴りとかタカオニとか子供の遊びと同じだと思うんだよね。なんか別に肩張ってるものでもないと思うんだよね。

●今年のB-BOY PARKについて

今年はちょっと雨が怖いので、B-BOY BATTLEも室内で大会をやって、最終日、日曜日のB-BOY PARKは自由に。何をやるって訳でもない。まあステージではライブやって、踊る所はまた別に作って、グラフィティの連中の為に壁を作ってあげたり、来てホントに自由に参加できるように。

とにかく場所さえあればなんか出来るから。場所を確保して...いろいろ考えてるけど、まだまだまならないね。グラフィティがどういう風風にやったら楽しめるかなって考えている。例えばステージの回りを全部何かで貼ってでもいいからパーって書きたいですよ。

多分コンパネとかペニヤなんかを貼ったりする



と思う。今年はライターもいっぱい集まると思うし。一番怖いのはその辺に書かれる事だね。でもみんな協力し合わないと出来ないものだから。

まあ去年もみんな協力しあいながらやってきたから多分大丈夫だと思うけど。どうせ書くんだから例え違法行為であってもみんなが喜ぶものであれば消されないと思うんですよ。ここだったら登れないから消されないだろうじゃなくて、この絵だったらいいねってところで消されないっていうアイディアで書いて欲しい。

ルーツを探ってどういうものなのかを知らばそういうこともなくなるんじゃないかな。ライターもグラフィティってやっている以上は、グラフィティとは何かを追求して欲しい。リスクはすごく高いけど、そこが美学だから、もうちょっと美学を追求して欲しいな。

●今年はアート方面を強化していく感じですか?

そうだね。グラフィティライター達と、パネルディスカッションで話そうにしたいし、歴史が長いから、20年以上もあるわけだし、悪い所は真似しちゃだめだと思う。無駄だから。それはもう俺達は体で感じてきたし、何が無駄何がいいのか。だからそのやってきた人達のいい所を見習って悪かった所はもう真似しない方がすごく早く進める。無駄も時には必要だけど、なるべく無駄は省いた方がいいもんね。悪い結果が出たのであればそれを真似しないで、いい結果が出たのを真似してさらに自分のをどんどん追求すればいい。

●今年のB-BOY PARKは年齢に関わらず若い世代の人にも参加して欲しい、と。

今年だけじゃなく、いつも。それが歩行者天国の時に子供からおじいさんおばあさんまで見ていってくれるし、毎年なにかお祭りみたいに出来ればい

いな一つ思っていたから。B-BOY PARKは小学生とか来て、地元でそれを遊びにしてくれるのが一番望ましいかな。ブレイクダンスなんて当時は20歳で引退って言われてたから。親にいつまでそんなことやってるのって言われたし(笑)。まあ子供のうちはどんどんやって、大人になったら食べそうもなかったら辞めた方がいいかなって感じかな。でも好きだったら仕事と関係なく携っていけばいいと思う。年取るとあんまり出来なくなってくるからなるべく早いうちにやって作品作るなり、なんなり。

●18年間やっていての一番の苦労話は何ですか?

やっぱり公共施設だから、何も迷惑を掛けないようになるっていうのが一番難しいかな。テキヤとかヤクザとかちよっかいも出されるし、その辺かな。あとね、確かにB-BOY PARKはイベントなんだけど、元々歩行者天国の時からやりたいヤツが例えばラジカセを持ってきたり段ボールを持ってきたりしてやってるパーティだから、普通のイベントだと思われてギャラを請求されるのが一番困る。やっぱりそうじゃなくて、スキルを持った奴がお互いにバトルする場所でもある。みんな自腹をきって場所を取って機材を揃えたりしてるので、持ち寄ってお祭りみたいにしたい。各自弁当持参をお願いします(笑)。

●このマンスリーを讀んでる人や、ハーレムをはじめクラブに遊びに来ている人達に何か一言。

俺ね、クラブに来ている今の子達に一番言いたいのは、フロアにタバコを捨てたり、飲み物を持ち込んだりするな、と。僕らが若い頃はフロアにドリンクもってけなかったしタバコも吸えなかったんじゃないかな。踊り場だから、タバコを吸うところじゃないし、踊りに来ている人もいるから、背中が汚れるので... お願いします。